

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名：日本一づくり特別強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 競技スポーツ課 競技スポーツ係

電話番号：058-272-1111 (内 2950)

E-mail：c11173@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 16,774 千円 (前年度予算額：17,748 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	17,748	0	0	0	0	0	0	0	17,748
要求額	16,774	0	0	0	0	0	0	0	16,774
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

特に県民の注目度の高い「高校野球」と「駅伝」について、県内の強豪校や優秀選手及び代表選手にターゲットを絞った強化事業や、優秀選手の発掘・育成など、独自の強化プロジェクトを推進する。

(2) 事業内容

- 「高校野球」強化プロジェクト
 - ・優秀ナイン発掘・育成事業、中学野球指導者養成事業
 - ・高校野球強化アドバイザー派遣事業
 - ・野球指導者研修事業
 - ・高校野球強豪校強化支援事業
- 「駅伝」強化プロジェクト
 - ・全国大会派遣強化事業
 - ・高地トレーニングエリア強化事業
 - ・中学生タレント発掘・育成・強化事業
 - ・長距離指導者育成事業、実業団派遣事業
 - ・岐阜県ナイター記録会

・都道府県強化事業

(3) 県負担・補助率の考え方

特に県民の注目度の高い「高校野球」と「駅伝」の2種目について、岐阜県独自の強化策を実施するものであり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	21	指導謝金等
旅費	470	会議旅費等(野球)
需用費	5	会議費
役務費	6	傷害保険料等
委託料	16,256	各事業業務委託(野球・駅伝)
使用料	16	会場使用料(野球)
合計	16,774	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各計画での位置づけ

- ・岐阜県清流の国スポーツ推進条例13条
- ・清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 後年度の財政負担

強化プロジェクトにより、中学・高校指導者の強化をはかり、中・高一貫指導体制の確立を促進し、他団体の参考となりモデル事業とするため、引き続き継続していく。

事業評価調書

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 高校野球では、この10年間（H25～R4）で、甲子園優勝を目指します。
 都道府県対抗駅伝では、令和4年までに目標（8位）入賞を目指します。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
都道府県対抗駅伝順位 (男子)	32 (H16)	21 (H29)	26 (H30)	32 (R1)	8 (R3)	
都道府県対抗駅伝順位 (女子)	37 (H16)	23 (H29)	38 (H30)	26 (R1)	8 (R3)	

○指標を設定することができない場合の理由

高校野球については目標の達成を示すものが優勝であり、数値で示すことができない。

(前年度の取組)

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - (1) 「高校野球」強化プロジェクト
 - ・第1回野球強化プロジェクト会議 令和2年7月14日(火)
 - ・中学生軟式野球強化練習会 令和2年9月6日(日)～11月1日(日)
 ※県中体連選抜選手30名が参加
 - ・リトルシニア強化練習会 令和2年8月14日(木)
 - ・ボーイズ強化練習会 令和2年9月5日(土)
 ～令和2年10月17日(土)
 - ・リトルシニア強化選手選考会 令和2年11月
 (中学2年生)
 - ・ボーイズ強化選手選考会 令和2年11月下旬～12月上旬 ※予定
 (中学2年生)
 - ・中学生軟式野球科学サポート 1日目 令和2年11月
 (含む硬式体験練習会) 2日目 令和2年12月 ※予定
 - ・中学生硬式野球科学サポート 1日目 令和3年1月 ※予定
 (含む強化練習会) 2日目 令和3年2月 ※予定
 - ・第2回野球プロジェクト会議 令和3年3月上旬 ※予定

(2) 「都道府県対抗駅伝」強化プロジェクト

・ 駅伝強化プロジェクト会議	令和2年8月21日(金)
	令和2年10月30日(金)
	令和2年12月11日(金)予定
	令和3年1月29日(金)予定
	令和3年2月26日(金)予定
・ 高地トレーニング合宿	コロナにより中止
・ 都道府県駅伝試走	令和2年12月26日(土)～28日(月)
・ 都道府県駅伝事前合宿	コロナにより中止

(前年度の成果)

・ 前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

高校野球強化アドバイザー派遣事業を活用し、4校の選手・監督・コーチらがアドバイザーから技術指導及び指導法などの講習を受けた。より専門的・実践的な指導が受けられ、関係者からの評価は高い。また、野球指導者研修事業では、県内の指導者4名を強豪校に派遣し、そこで学んできたことを研修会等で共有し、岐阜県の指導者全体の底上げを図ってきた。

夏の選手権大会に出場した学校においては、岐阜県勢として10年ぶりのベスト4に進出した。また、春の選抜大会においては、3年ぶりの出場が決まるなどの成果をあげた。今後もこの事業を継続することにより、岐阜県野球界の技術力向上が見込まれる。

駅伝強化では、新型コロナウイルス感染症による大会中止を受け、事業内容を1から見直し、廃止する事業・拡充する事業・新たに取組む事業を整理した。高地トレーニングなど岐阜県の財産を有効に活用し、実業団をはじめとする優秀な指導者や選手を招聘し、指導者の指導力向上と選手の競技力向上をより関連づけた事業を実施していくため、今後の記録向上が見込まれる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)

○ : 必要性が高い △ : 必要性が低い

(評価) ○ 高校野球や都道府県駅伝での活躍は県民に活力を与えるものである。また、中学・高校・大学・社会人の枠を超えた一貫指導体制を構築しているため、各関係団体への支援を拡充させる。

・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

○ : 概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている

△ : まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価) ○ 目標を上方修正した平成25年と平成27年には、選抜大会ベスト8という結果を収めるが、それ以降は春夏共に1・2回戦敗退が続いた。しかし、昨年(令和元年)の夏大会でベスト4という結果が出たことや、岐阜県勢として3年ぶりとなる選抜大会出場決定など、中高連携のシステムなどの事業成果が出ているといえる。

	<p>駅伝については全国レベルが上がっていることもあり、目標順位までなかなか到達しないが、タイムは着実に伸びている。合同練習の成果が中学生の競技力向上にもつながっており、今後の成果に期待できる。</p>
	<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>
<p>(評価) ○</p>	<p>年度初めのプロジェクト会議で事業内容と目標を確認し、各組織間の意思統一が図られているため、年間を通じた強化策が無駄なくスムーズに実施できている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>高校野球については、全国大会で勝ち上がるためには、1チームに複数の有力投手を育成することが課題となる。今後は、球質測定器を活用した科学サポートなどをおこない、投手の育成にさらに力を入れていく。</p> <p>また、専門的知識や戦術眼を持ち合わせ、情熱・カリスマ性ある優秀な指導者の養成や出現が求められる。</p> <p>駅伝については、長距離指導者の不足が一番の課題である。駅伝強化スタッフだけでなく、選手の日常をサポートする指導者の指導力向上や、指導者間の交流・共通理解が課題である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>高校野球と都道府県対抗駅伝は、全国中継され、県民の注目度が特に高く、これまでも県民の方々から、成績についてのご意見やご指摘をいただいている。そこで、中高生を対象とする高トレ活用や全国大会派遣を拡充させ、中高生の競技力向上を目指す。また、県外流出をくい止めるとともに、県内で育った選手が県の代表として全国で活躍できるベース作りを継続していく必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>—</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	<p>—</p>